

博修士会会報

Alumni Bulletin For K.U.Masters and Doctors 2022年7月22日発行

▲大学本館（1927年3月竣工）



ごあいさつ

関西大学博修士会会長 北嶋 弘一

関西大学博修士会は、1952（昭和27）年に設立されて以来、本年で創立70年を迎えることになりました。会員の皆様には、コロナ禍にめげず各界において活躍のことに伴って、本会の活動に對しましては心温まるご助言や特別協力金のご寄付など数々のご支援ならびにご協力を賜り心より感謝申し上げます。

また、関西大学は去る6月5日に「大学」昇格100年を迎えました。本学の前身である関西法律学校は、1886年11月4日に大阪市西区京町堀にある願宗寺において開講しました。その後、専門学校令に基づく私立学校にも帝国大学と同等の資格を認める大学令（現在の学校教育法）が公布されたことを機に、山岡順太郎のもと大阪財界の支援を得て1922年に学舎を千里山に開設すると共に念願の大学昇格を果たし、本学の教育・研究活動の理念である「学の実化」の提唱、今日まで歌い継がれている「学歌」（作詞：服部嘉香、作曲：山田耕筰）の制定など今日の関西大学の礎を築きました。

大学院創立以来これまでの修了者および学位取得者の総数は24,000名を超え、校友会（約49万名）の中においても大所帯の同窓会組織として発展を遂げております。今日の関西大学大学院は、法学、文学、経済学、商学、社会学、総合情報学、理工学、外国語教育学、心理学、社会安全、東アジア文化、ガバナンス、人間健康の13研究科博士課程前期課程および同後期課程と法務、会計の2専門職学位課程の計15研究科を擁する我が国屈指の大学院に発展、充実しております。

去る3月22日に行われました学位記授与式は、この2年間新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために各研究科に分散して全体の式典をリモートで中継しつつ実施されましたが、ようやくBIG

ホール100において挙行されました。511名の修士と61名の専門職を合わせた572名の修了生および32名の博士の計604名を本会の新たなメンバーとして迎えるとともに、昨年9月期の学位記授与式では25名の修士と2名の専門職の計27名の修了生および12名の博士を迎えました。さらに、4月2日に実施された入学式も学位記授与式と同様に全体で中央体育館で開催されましたが、15研究科811名および昨年の秋学期入学生20名を加えた831名のフレッシュな学生会員を迎え、創立135年の節目を迎えた母校の学術発展の中核としての一翼を担っていただくことを大いに期待するものであります。

来る10月8日（土）に関西大学博修士会創立70周年を記念した総会・学術講演会を下記の通り開催致します。総会後の学術講演会では、芝井敬司理事長（前学長）を講師にお迎えして、「大学昇格100年を迎えた関西大学一本学の学是“学の実化”を現代社会に問う」と題してご講演いただくとともに、さらに本年は「日本考古学最大の発見」と言われ考古学ブームを巻き起こした「高松塚古墳の極彩色壁画」の発見50年の節目を迎えており、本会会員である米田文学教授（文博1987修了）をお招きして「高松塚古墳発掘50周年を迎えて」と題して千里山キャンパス第2学舎教室においてご講演いただきます。なお、現在の状況を鑑み、学術講演会後の懇親会は中止させていただきます。

会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響が未だ残る中で何かと大変なことは存じますが、万障お繰り合わせの上是非ともご出席いただき、講師の先生方と親しく懇談していただきますよう心よりお待ち申し上げます。

2022年度 総会・学術講演会・懇親会のご案内

日 時：2022年10月8日（土）12:30から受付開始
場 所：関西大学千里山キャンパス、第2学舎2号館C507教室
内 容：総 会 13:00～14:20
学術講演会 第一部：14:30～15:30
第二部：15:40～16:40
第一部演題：「大学昇格100年を迎えた関西大学
一本学の学是“学の実化”を現代社会に問う」
講 師：芝井敬司 理事長
第二部演題：「高松塚古墳発掘50周年を迎えて」
講 師：米田文学 文学部教授
※懇親会：新型コロナウイルス感染症対策のため中止とさせていただきます。
総会・講演会参加者：会員+会員の紹介者に限定（記念ファイルシート進呈）できれば特別協力金もお願い致します。
（事前申込制：郵便振替とする）
会 費：会員と同伴者は3,000円、院生会員は無料
（e-mail・QRコードで申込）
お願い：ご出席の方は、9月30日（金）までに、事前に郵便振替でお申し込み下さい。なお、総会・講演会はマスク着用でご参加下さい。

- 郵便振替：00900-2-68733 関西大学博修士会
通信欄に「総会費」などご記入下さい。
- 問合せ先：博修士会総務部
FAX：075-331-6647
博修士会総務部 宛
- e-mail：kandaimd@muse.ocn.ne.jp
（総務部：中原 宛）
- はがき：〒610-1102
京都市西京区御陵大枝山町6-14-6
博修士会総務部長：中原住雄

学校法人関西大学
芝井敬司理事長関西大学文学部
米田文学教授

総会・講演会のライブ中継に関するご案内
総会・講演会の模様をご自宅等でご視聴いただけるよう、10月8日（土）13時よりインターネット配信によるライブ中継を行います。ネットでご参加をご希望の場合も、事前登録が必要となりますので、e-mail又はQRコードをご利用の上、9月30日（金）までにお手続きをお願いします。

関西大学博修士会 創立70周年をお祝いして

学校法人関西大学 理事長 芝井 敬司



関西大学博修士会の創立70周年にあたり、心よりお祝いの言葉を申し上げます。まことにおめでとうございます。また、これまで貴会の維持発展のためにご尽力いただいた会員をはじめとする本会関係者の皆さまのご労苦にたいして、深い敬意と感謝の意を表します。

さて、本年4月に関西大学に入学した新生は、学部学生が6,919名、大学院学生が修士・博士あわせて713名、法曹、会計の専門職課程の学生が98名、総計7,730名を数えました。大学院生の割合は、専門職をあわせて10パーセントを超えています。

一方、この2年ばかりの間、日本社会は新型コロナウイルス感染症の拡大を経験してきました。私たち関西大学も例外ではありません。緊急事態宣言が発出された時点では、登校する学生の姿もなく、キャンパス全体が文字通り火が消えたようになりました。

当初から本学は、法人教学が協力して、「コロナ禍の経済的理由から退学する学生を一人も出さない」という方針を掲げて、さまざまな経済支援策を実行して全力で学生を支えてきました。また、ワクチンの大学拠点接種に際しては、学生・教職員、そのご家族、近隣住民などを対象に、千里山、高槻ミューズ、堺のキャンパスに会場を設置して、積極的に取り組みました。本学の会場で2回の接種を終えた人数は、3万593人に達しました。

大学院では、新型コロナウイルス感染症の流行に大きな影響を受けてきました。大学院で学ぶことを希望する外国人留学生の中には、合格を手にしたものの日本に入国することができず、やむなく退学や休学を選択する者が相次ぎました。希望を捨てなかった学生たちには、オンラインを使った遠隔授業を行い何とか凌ぐことはできたとはいえ、本年の学位記授与式では、一度も日本に来ることなく修士号を授与された修了者ができました。

本年2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵攻も、大学院の国際化に影を落としています。総じて研究交流の減少と停滞、国家間の分断の拡大、若者の留学意欲の減退が、ゆっくりとながらも進行しつつあると感じています。

しかしながら、この間のさまざまな制約状況にもかかわらず、本学大学院の教育研究の発展に希望を抱かせるいくつかの動きを指摘することができます。

その一例を挙げてみましょう。これまで私たちは、対面を前提とする教育こそが重要であると考えてきました。そしてそれは否定できないことだとしても、他方でデジタル・トランスフォーメーションの積極的な活用が、未来の大学および大学院の教育を創り支えあるいは補完することもまた、否定できない真実です。コロナ下において私たちは、その真実を頭で理解するのではなく、実際に経験することになりました。「世界に向けた講義配信」、「国際的な共同研究の推進」、「英語をはじめとする多言語を使用する教育研究環境」などが、学部・大学院におけるDX推進によって実現できるという見通しを持つことができました。文部科学省から多額の助成を得たことを起爆剤として、私たちはDX推進を急ぎます。

少子高齢化が進行する日本社会において、大学院は私たち関西大学の未来に夢を与えてくれる一種のフロンティアであると、私は考えています。フロンティアであるならば、困難に遭遇しても希望を絶やすことなく、皆さまとともに力を合わせて、前進していきたいものです。どうぞ引き続きお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

関西大学博修士会 創立70周年を祝して

関西大学学長 前田 裕



関西大学大学院の修了生、学位取得者の同窓会である関西大学博修士会が創立70周年を迎えられますこと、心よりお喜びを申し上げます。また、いままで貴会を支えてこられた多くの先達の皆様にも、そのご貢献、ご尽力に感謝を申し上げます。

関西大学の大学院の歴史は、大学令により大学として昇格した翌年1923年に遡ります。この年、本学の学位規程が文部省から認可されています。これを受け、本学最初の学位授与者は武田宣英氏で、1928年に法学博士の学位が授与されています。その後、実際に大学院が設立されたのは1929年でした。この年、第一期生9名を受け入れ、大学教員養成の構想の下で、大学院としての本格的な活動がはじまりました。

新制の関西大学大学院は1950年4月に、法学研究科（2専攻定員60名）、文学研究科（3専攻定員60名）、経済学研究科（1専攻定員50名）の3研究科の修士課程でスタートしました。その2年後に、55名の修士課程修了生が生まれ、修了後も修了生が集える場があるようにという思いから修士会が作られました。その後、1952年には博士課程が設置され、貴会の名称も博修士会となりました。それ以後、関西大学大学院は先生方のご尽力を得て、各研究科の拡充が行われ、現在、13の研究科と2つの専門職大学院を有しています。大学院創立以来の修了者および学位取得者の総数は24,000名を超え、各界でご活躍されています。同時に、博修士会の活動も、多くの修了生の皆様のご尽力で発展し、いまに至っています。

いま、日本の人口は1億2,519万人（2022年4月現在、総務省統計局人口推計より）から2065年の8,808万人（国立社会保障・人口問題研究所日本の将来推計人口より）へと減少すると推定されています。このような急激な人口減少が進行する中であって、日本社会を継続的に支え、国際社会に貢献できる日本であるためには、ジェンダー、年齢、文化的

な背景を越えた、多様な人々がお互いを尊重しながら、協力しあうことが欠かせません。同時に、高い知識と見識をもった高度職業人材が、社会全体の生産性を高め、SDGsに代表される課題を解決すると共に、多様な価値観で社会や人々の心と暮らしを豊かにすることが望まれています。

その一方で、日本の社会において、修士号・博士号の取得者数の少なさが問題になっています。人口100万人当たりで、日本の修士号取得者は588人で、英国の4,216人、米国の2,550人に比べると極めて少なく、博士号では日本の120人に対して、英国は375人、隣国韓国は296人です（文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術指標2021、調査資料-311より）。

関西大学においても学部を卒業した優秀な学生が、さらに高度な知識を学び、より高度な職業人材となるべく、大学院に入学しておられます。大学院のさらなる活性化、高度化を目指して、外国語で修了できるプログラムや研究科の枠を越えた取り組みなど、学の実化の学是のもとで、社会を先導できる人材育成に取り組んでいるところです。

コロナ禍やウクライナでの惨事を見てもわかるように、何が起ころうとも不思議ではない、いまの社会で、単に知識だけでなく、高い見識と矜持をもって社会を先導する人材の育成は、学の実化を学是とする関西大学の使命でもあり、関西大学大学院の教育、研究の重要性は益々高まっています。その修了生の集まり、ネットワークとしての博修士会の果たす役割やその発信力も欠かせない存在になっていることは言うまでもありません。

関西大学博修士会の創立70周年を迎えてのお喜びと同時に、つぎの70年、いや100年を関西大学大学院と共に発展されることを祈念して、お祝いの挨拶とさせていただきます。

注：関西大学大学院の歴史については、「新制大学院50周年を迎えて—その設立の経緯—、永田眞三郎、関西大学年史紀要第13号（2001年）」を参考にさせていただきました。

祝関西大学博修士会創立70周年 —次世代への礎—

関西大学校友会 会長 田中 義信



この度は、貴関西大学博修士会が創立70周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。折しも2022年は我が関西大学が大学令に基づく大学（旧制）への昇格から100年という節目にあたる祝賀の年でもあり、まさに二重の慶びであります。

関西大学博修士会は、1952年（昭和27年）の創立来、各界でご活躍される約24,000名の会員がおられる組織で、関西大学校友会の中でも大所帯組織として発展してこられました。関西大学が他大学と比していち早く新制大学に移行後、1950年（昭和25年）に新制大学院が設置され、その栄えある1期生が新修士となられたことで修士会が誕生しました。その後、博士課程修了者が加入することで、名称を「関西大学博修士会」と改称されたことは、多くの皆さまの知るところでございます。爾来70年にわたり脈々と、どの時代においても各界の先達が、過去の経験を礎石としつつも社会の最先端を見据えて尽力され、その成果を常に実社会に還元されてこられました。これは、1922年（大正11年）に山岡順太郎（総理事・第11代学長）が提唱した学是「学の実化」の理念、「大学は教育研究に実社会の知識や経験を取り入れ、社会は大学の学術研究の成果を取り入れることによって、『学理と実際の調和』を求めろ考え方」をまさに長年具現されてきたと言えるのではないのでしょうか。日々努力を惜しまず奮励されてきた皆さまに敬意を表すとともに、心より感謝申し上げます。

関西大学大学院は、近年に至るまで継続して大学院改革を行い、関西、ひいては日本屈指の研究教育機関として発展してまいりました。現在我が国で博士課程を設置する大学院は約460校あり、年間約15,000人が修了します。そんな中、文部科学省が文系・理工系双方の博士人材のキャリアパス開拓の支援策を中央教育審議会での検討を踏まえて展開されています。関西大学におきましても、国立研究開発法人科学技

術振興機構（JST）が推進する「次世代研究者挑戦的研究プログラム」事業に採択され、「関西大学大学院『考動力』人材育成プロジェクト」として、高度な知識・技能を修得しつつある博士課程後期課程学生が、卓越した「考動力」を発揮して様々な社会課題に取り組み、その解決に貢献できる研究者もしくは高度専門職業人として自立して活動することができるよう、経済的支援が強化されています。この事業は、専門領域の研究に専念できるのみならず社会に貢献できる自身の将来像を描ける環境を総合的・包括的に整備することを目的とした取組みであります。関西大学大学院におけるさまざまな教育改革により、近年における世界情勢の混沌並びに未曾有の新型コロナウイルス感染症蔓延等による不透明な時代においても、過去3年間の関西大学大学院入学生総数は前期後期とも増加傾向にあり、自ずと博修士会組織のさらなる発展に繋がっていくことは言うまでもありません。

関西大学校友会は、「会員相互の厚誼を厚くし母校関西大学の隆盛を図ること」を目的として活動しています。この精神は関西大学校友会における確たる理念であり、次世代においても大切に守り続けていくものです。VUCAの時代と言われる昨今、変化が激しく先行き不透明な社会情勢ではありますが、そんな時代であるからこそ各界で邁進されている、貴会員さまをはじめ50万人を超えようとする校友の皆さま方が、母校はもとより我が国、そして全世界の繁栄へと力強く導いて頂きますよう、ご提言並びにお力添えを切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、関西大学博修士会のさらなるご発展と、会員の皆さまの益々のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

写真でたどる 大学院の最近の10年



▲阪急関大前駅北口に新アクセス



▲イノベーション創生センター



▲梅田キャンパス



▲創立130周年記念式典

大学院等の近況 (2013年以降)

2013(平成25)年4月

文学研究科において西洋史学・アジア史学専修を世界史学専修に名称変更

2014(平成26)年4月
4月

人間健康研究科を設置
外国語教育学研究科前期課程で「外国語教育学領域」、「異文化コミュニケーション学領域」、「通訳翻訳学領域」の3つの領域に授業科目を配置。

2015(平成27)年4月

連合教職大学院(大阪教育大学大学院連合教職実践研究科)が設置され、連合参加大学として参画

2016(平成28)年4月
4月

なにわ大阪研究センターを開設
心理学研究科は、心理学専攻1専攻に再編

8月

阪急関大前駅北口に新アクセス(西門)が開通

9月

イノベーション創生センターを開設

10月

梅田キャンパスを開設

11月

関西大学創立130周年記念式典を挙

2017(平成29)年4月

商学研究科博士課程前期課程の研究者コースを研究者養成・後期課程進学コースに、専門職コースを高度専門職養成コースに改称し、博士課程後期課程の2専攻制(商学専攻・会計学専攻)は商学専攻の1専攻制に改組。

2020(令和2)年4月

臨床心理専門職大学院の募集を停止し、心理学研究科で心理臨床学専攻を開設。

4月

社会安全研究科は10周年を迎えた。

2021(令和3)年4月

文学研究科において中国文学専修(前期課程・後期課程)は、東アジア文化研究科文化交渉学専攻に属することとなった。

2022(令和4)年6月5日

大学昇格100年(1922年に大学令により関西大学となった)を迎え、記念式典が行われた。

10月8日

関西大学博修士会創立70周年を迎え、記念総会・講演会が行われる。

写真でたどる 大学院の最近の10年

関西大学大学院研究科一覧

(2022年4月現在)

研究科	博士課程前期課程	博士課程後期課程
法学研究科	法学・政治学専攻	法学・政治学専攻
文学研究科	総合人文学専攻	総合人文学専攻
経済学研究科	経済学専攻	経済学専攻
商学研究科	商学専攻	商学専攻
社会学研究科	社会学専攻	社会学専攻
	社会システムデザイン専攻	社会システムデザイン専攻
	マス・コミュニケーション学専攻	マス・コミュニケーション学専攻
総合情報学研究科	社会情報学専攻	総合情報学専攻
	知識情報学専攻	
理工学研究科	システム理工学専攻	総合理工学専攻
	環境都市工学専攻	
	化学生命工学専攻	
外国語教育学研究科	外国語教育学専攻	外国語教育学専攻
心理学研究科	心理学専攻	心理学専攻
	心理臨床学専攻	
社会安全研究科	防災・減災専攻	防災・減災専攻
東アジア文化研究科	文化交渉学専攻	文化交渉学専攻
ガバナンス研究科	ガバナンス専攻	ガバナンス専攻
人間健康研究科	人間健康専攻	人間健康専攻

(2022年度関西大学大学院学則による)

専門職大学院一覧

(2022年4月現在)

研究科	専門職学位課程
法務研究科 (法科大学院)	法曹養成専攻
会計研究科 (会計専門職大学院)	会計人養成専攻



▲千里山キャンパス



▲高槻キャンパス



▲高槻ミュージックキャンパス



▲堺キャンパス

学位授与者数 (累計)

(2022年5月現在)

前期課程	
法学研究科	1337
文学研究科	2979
経済学研究科	677
商学研究科	852
社会学研究科	910
総合情報学研究科	842
理工学研究科	4194
外国語教育学研究科	448
心理学研究科	121
社会安全研究科	110
東アジア文化研究科	206
ガバナンス研究科	63
人間健康研究科	66
工学研究科(2014年廃止)	7947

20752

後期課程	
法学研究科	21
文学研究科	281
経済学研究科	18
商学研究科	28
社会学研究科	50
総合情報学研究科	76
理工学研究科	93
外国語教育学研究科	34
心理学研究科	43
社会安全研究科	20
東アジア文化研究科	80
ガバナンス研究科(2015年開設)	2
人間健康研究科	7
工学研究科(2014年廃止)	132

885

専門職学位課程

法務研究科	977
会計研究科	623
心理学研究科 (心理臨床学専攻)(2021年廃止)	320

1920

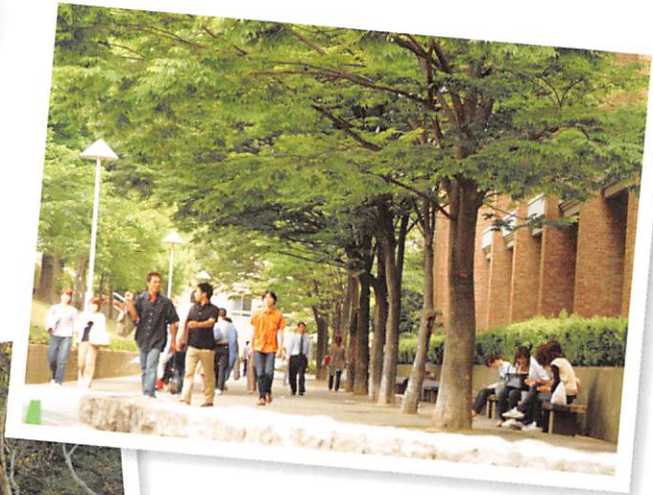
総計	24088
----	-------

論文博士

論	博	531
		531

写真でたどる 大学院の最近の10年

キャンパスライフ



博修士会からのお願い

郵便振替 00900-2-68733 関西大学博修士会

特別協力金のご協力をいただきました会員の皆様にお礼申し上げます。会の財政が逼迫しておりますので、本年度も引き続きご協力をお願いいたします。1口1,000円、できれば2口以上お願いいたします。また、終身会費15,000円を未納の方は、納入をお願いいたします。

特別協力金納入者名簿

(五十音順、敬称略) (2021年4月1日～2022年3月31日)

天井 一夫	岡 照二	木村 昌司	鹿田 幸治	西出 治彦	水野 一郎
網本 浩幸	岡本 哲和	児玉 憲夫	篠塚 義弘	羽間 弘	明神 信夫
池田 勝彦	緒方正則	後藤 安子	椿 信二	飛田 篤	村中 徳明
稲田 秀和	小田 廣和	竿田 嗣夫	富田 好 久	平野 裕	村山 美恵子
岩井 治夫	小幡 齊	佐々木 保幸	中川 雄弘	藤井 昭三	山本 善章
上西 真	木下 雅信	笹倉 淳史	中橋 久史	松田 充弘	山元 哲朗
江川 承和	北嶋 弘一	早苗 良雄	長濱 治男	松本 始	横田 伸敬
大倉 俊	北村 英子	沢 勲	中原 住雄	真部 和義	和田 葉子

先輩から



学び直しとキャリアデザイン

須和 憲和 (2022 博 社会安全研究科)

近年、リカレント教育が注目を集めています。なぜ私が学び直そうと思ったのかお話しします。私は、1980年3月に関西大学経済学部を卒業し、地元のバス会社に入社しました。50歳の時に重大事故が連続して発生し、その立て直しを会社から命ぜられました。最初の1年は事故の裁判・示談に明け暮れました。社内には参考にするものがなく、模索していたところ、交通心理学という学問があることを知りました。事故は運転者の責任であると思っていましたが、管理する側にも問題があると分かり、経営戦略を学び、MBAも取得しました。50歳を過ぎ、課題が目前に迫り、ようやく自我に目覚め、学ぶことのおもしろさに気づきました。

しかしながら、これだけでは、自己・自社の対策はできたとしても、社会全体の安全に貢献するには限界があるので、大きな視点から事故防止、安全管理について学ぶことができる日本で唯一の、関西大学大学院『社会安全研究科』で学び直そうと決心しました。そのとき、偶然にも国土交通省のセミナーで同席させていただいた安部誠治教授に相談することができました。

2019年4月に社会安全研究科に入学し、社業と学業が両立しやすいよう、スケジュール管理をしていただきました。いつもギリギリで切羽詰まった状態での査読論文の提出、発表が分かりやすいようにとパワーポイントのご指導までしていただきました。私が学んだ3年間のうち3分の2の時間はコロナ禍でした。学生同士の交流などは限られましたが、数少ない中でも刺激を受けることができました。いままで実務ベース

で思考していたものが偏った見方であり、文献・資料調査やインタビューを重ねることによって学問の奥深さをあらためて認識しました。

2022年3月14日には、国土交通省の運輸安全マネジメント総合セミナーにおいて、「バス事業における事故防止と安全管理」について博士論文の一部を発表し、運輸関係者の共感を得ることができました。重大事故や災害の体験を後世に伝えていくことは難しいテーマです。同じ失敗をしたり、被害を出したりしないようにするために、事実をどう伝えるかが課題であり、それを解決する一助になり得たのではないかと確信しています。

社会が目まぐるしく変わる今日、仕事で求められる知識やスキルを、時代の変化にあわせて継続的にアップデートすることが求められています。学び直しは、生き方や働き方の選択肢を増やし、人生の幅を広げることにつながります。「学び」に遅すぎることはありません。何歳になっても学び続けていくことは重要です。私は現在64歳ではありますが、今後は自身がロールモデルとなるべく、生涯現役を目指し、実務と研究の往復運動を続けていこうと考えています。

学位を授与されたことは、これからの人生において何よりの励みになります。これまで支えてくださいました諸先生方、励ましてくれた家族に感謝の気持ちを贈ります。

先輩から



私の「The Long And Winding Road」

湯浅 麻里子 (2022 修 外国語教育学研究科)

「大学で正規職員として働きたいなら、もう一度、大学院へ行くしかないんじゃない?」「じゃあ、行く!」。夫の挑発に、私は飛びつきました。当時の私は46歳、大学非常勤講師。大学院で学び直したいと思いつつ、キャリア人生の折り返し地点をとっくに過ぎ、笑われるのではと誰にも言えず、もやもやしていた気持ちが吹っ飛んだ瞬間でした。2019年春、私の学び直しの旅が始まりました。

本学外国語教育学研究科での学びは、知識に渴望していた私にとって、至福の時間でした。英語教育の第一線で活躍されている先生方のご指導のもと、さまざまな背景を持つ院生たちと共に学ぶことは、貴重な体験でした。また、応用言語学の理論と教育現場での実践とを結ぶ議論は、研究科の大きな魅力でした。

2020年春、私は新たな大学で講師として勤務することになったのですが、コロナ禍に襲われました。突然始まったオンライン授業の運営に戸惑いながら、週10コマの授業と準備、課題チェックなどに深夜までパソコンと格闘する日々が始まりました。7月の終わり頃、およそ300名の課題を採点していた時、多くの学生が機械翻訳を使っていることに気づきました。

禁止すべきか、活用すべきか、英語指導者として考え始めました。あるクラスの対面授業で私は地域の魅力を英語で発信するプレゼンを課しました。決して英語が得意とは言えない学生たちが機械翻訳の助けを借りながら、地元の文化や歴史、特産物などについて調べ、いきいきと英語を操っていました。「機械翻訳を利用しない手はない」。私はそう確信しました。これが修士論文のテーマへとつながったのです。

機械翻訳技術の急速な進化は、英語学習に影響を与えています。学習者の習熟度、母語運用力で差がつく課題はあるものの、使い方次第で有能なツールになります。私は当初、英語を英語で教えるダイレクトメソッドを当たり前のように実践していました。ところが、後に英レディング大学院で英語教育における母語の重要性を学びました。

私はこれまで、豪州での日本語指導、英国での子供の言語サポート、日本での英語指導・通訳をしてきました。こうした言葉に関わる様々な仕事を通じて、外国語学習における母語の大切さを深く知ることができました。そして、今、機械翻訳の教育的利用という研究テーマに出会ったのです。このテーマにおいて、母語の力は重要なファクターです。私の「The Long And Winding Road」は無駄ではなかった、と思えるようになりました。

2022年春、私は大学生英語学習者による機械翻訳の使い方(方略)をテーマに、修士論文を執筆し、修士号を取得しました。そして、このテーマをより深く追究したいと、博士課程へ進学しました。すいぶん遠回りしましたが、ようやく研究者としてのスタートラインにたどり着いた気がします。学びの旅は、まだ続きます。これまで学んだことを生かし、少しでも社会に恩返しができるよう、精一杯、努力を重ねてまいります。

総会議案書

〈第1号議案書〉

2021年度事業報告

2021年4月1日～2022年3月31日

[1] 総会に関する事項

2021年度 総会・学術講演会

開催日時：2021年7月31日（土）13:00～

開催場所：関西大学千里山キャンパス第2学舎1号館5階：A503教室

来賓：芝井 敬司 関西大学 理事長
前田 裕 関西大学 学長
山本 秀樹 関西大学 副学長（研究推進部長）
藤田 高夫 関西大学 副学長（国際部長）
田中 義信 関西大学校友会 会長
小谷 寛子 女子秀麗会会長

◇第1部：総会 13:00～14:00 A503教室

- (1) 2020年度事業報告
- (2) 2020年度収支決算および監査報告
- (3) 2021年度一般会計収支予算案

◇第2部：学術講演会 14:00～15:00 A503教室

演題：「生み出されるデータ量の爆発的増加とハードディスクの高密度大容量化について」

講師：多川 則男 先生（関西大学名誉教授）
2020年度文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）

◇第3部：懇親会 新型コロナ感染症対策のため中止

[2] 役員会に関する事項

◇理事会

- ・2021年4月上旬：書面審議（郵送、メール）
コロナ禍により書面審議に切り替え。
(2021年度総会・学術講演会・会報発行計画・決算・予算の件、その他)

◇常任理事会

- ・2022年2月26日（土）14:00～
ZOOMによるリモート常任理事会
(2022年3月期修士記授与式、入会案内・入会受付手続き・記念写真撮影に関する件、2022年度総会・学術講演会・会報発行計画、会計中間報告等)

[3] 会報発行に関する事項

- ・2021年7月1日（木）
「会報2021年号」を編集・発行（広報部）

◇その他

- (1) 2021年4月2日（金）
 - ・大学院入学式（各研究科所在のキャンパスにて分散開催）
(式典中止)
院生会員への勧誘資料配布（学長課に取りまとめ依頼）
博士課程前期課程：春学期4月：646名+9月秋学期16名
博士課程後期課程：春学期4月：46名+9月秋学期4名
大学院専門職課程：93名
(会計研究科：60名、法務研究科：33名)
- (2) 2021年4月4日（日）
 - ・2021スプリングフェスティバル
新型コロナウイルスによる感染症対策のため開催中止
- (3) 2021年6月12日（土）
 - ・校友会第117回定時代議員会：書面決議にて参加
(会長コーナ)

(4) 2021年7月3日（土）

- ・全国組織代表者会議（関西大学100周年記念会館：会長参加）
(他部署はリモート参加)

(5) 2021年9月17日（金）

- ・大学院9月期学位（修士・専門職）記授与式+秋学期入学式
・新会員の入会勧誘資料配布（学長課に取りまとめ依頼）

(6) 2021年9月19日（日）

- ・校友会関西大学フェスティバルin北陸(ホテル金沢)開催中止

(7) 2021年10月17日（日）

- ・2021年度校友会総会（インターネットによるライブ配信）に参加

(8) 2022年1月15日（土）

- ・校友会新年互礼会（大阪新阪急ホテル）に出席（会長参加）

(9) 2022年3月22日（火）

- ・大学院学位（修士・専門職）記授与式（BIGホール100）
(会長参加)

- ・新会員の入会勧誘資料配布（学長課に取りまとめ依頼）
- ・記念写真撮影（中止）

博士課程前期課程：511名+9月期：25名

博士課程後期課程：29名+9月期：11名

論文博士：3名+9月期：1名

大学院専門職課程：61名+9月期：2名

(会計研究科：39名、法務研究科：22名)

(10) 2022年3月26日（土）

- ・校友会第118回代議員会（動画配信+議案回答書送付で対応）（会長コーナ）

〈第2号議案書〉

2021年度収支決算報告書

一般会計収支決算書

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

(収入の部)

(単位：円)

項目	予算額	執行額	差引差額
1. 会費収入	420,000	147,000	273,000
① 正会員入会金収入	60,000	15,000	45,000
② 院生会員入会金収入	360,000	132,000	228,000
2. 事業収入	120,000	54,000	66,000
① 総会会費収入	90,000	54,000	36,000
② 広告料収入	30,000	0	30,000
3. 雑収入等	30,100	10,002	20,098
① 雑収入	30,000	10,000	20,000
② 受取利息	100	2	98
4. 特別協力金等	400,000	631,000	▲231,000
特別協力金収入	400,000	631,000	▲231,000
当期収入合計	970,100	842,002	128,098
名簿特別勘定からの取崩収入	853,594	853,598	▲4
前期繰越金	60,478	60,478	0
合計	1,884,172	1,756,078	128,094

総会議案書

(支出の部)

(単位:円)

項目	予算額	執行額	差引差額
1. 一般管理費	230,000	105,767	124,233
①通信費	50,000	24,194	25,806
②事務用消耗品費	80,000	61,790	18,210
③支払手数料	20,000	19,783	217
④雑費	80,000	0	80,000
2. 会議費	80,000	30,000	50,000
①総会費	50,000	30,000	20,000
②諸会議費	30,000	0	30,000
3. 事業費	630,000	723,270	▲93,270
①印刷費	560,000	709,390	▲149,390
②修士記授与記念写真費	30,000	0	30,000
③記念品費	40,000	13,880	26,120
予備支出	30,000	0	30,000
予備費	30,000	0	30,000
当期支出合計	970,000	859,037	110,963
次期繰越金	914,172	897,041	17,131
合計	1,884,172	1,756,078	128,094

(注) 予算額は、7月に開催された総会で修正された予算にもとづいています。

特別会計収支決算書

奨学金特別基金

自 2021年4月1日
至 2022年3月31日

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	1,204,989	次期繰越金	1,205,000
受取利息	11		
合計	1,205,000	合計	1,205,000

名簿特別勘定

自 2021年4月1日
至 2022年3月31日

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	853,594	一般会計へ(解約)	853,598
一般会計より入金	0		
受取利息	4		
合計	853,598	合計	853,598

財産目録

2022年3月31日現在

(資産の部)

(単位:円)

科目	摘要	金額
普通預金	一般会計収支(りそな/難波)	486,263
振替貯金	一般会計収支(ゆうちょ/大阪事務センター)	396,046
通常貯金	一般会計収支(ゆうちょ/大阪事務センター)	14,732
小計		897,041
普通預金	特別会計 奨学金特別基金用(りそな/難波)	1,205,000
合計		2,102,041

(負債及び正味財産の部)

(単位:円)

科目	摘要	金額
正味財産	次期繰越金	2,102,041
合計		2,102,041

監査報告書

関西大学博修士会

会長 北嶋 弘一殿

私たちは、2021年4月1日から2022年3月31日に至る一般会計収支決算書、奨学金特別基金および名簿特別勘定の特別会計収支決算書、ならびに財産目録について監査を実施いたしました。

監査の結果、上記決算書類は、適正なものであることを認めます。

2022年6月11日

監事 竿田 嗣夫 (印)

監事 水野 一郎 (印)

監事 吉城 唯史 (印)

〈第3号議案書〉

2022年度一般会計収支予算(案)

自 2022年4月1日

至 2023年3月31日

(収入の部)

(単位:円)

項目	予算額	摘要
経常収入	990,050	
1. 会費収入	420,000	
①正会員入会金収入	60,000	正会員入会見込 15,000円×4人
②院生会員入会金収入	360,000	院生会員入会見込 12,000円×30人
2. 事業収入	140,000	
①総会会費収入	120,000	総会出席見込 3,000円×40人
②広告料収入	20,000	広告掲載見込 10,000円×2件
3. 雑収入等	30,050	
①雑収入	30,000	お土産料
②受取利息	50	預金利息等
4. 特別協力金等	400,000	
特別協力金収入	400,000	
前期繰越金	897,041	
合計	1,887,091	

(支出の部)

(単位:円)

項目	予算額	摘要
経常支出	1,040,000	
1. 一般管理費	240,000	
①通信費	50,000	総会、役員会案内発送費
②事務用消耗品費	80,000	文房具、事務用品費
③支払手数料	30,000	振込、振替送金手数料
④雑費	80,000	
2. 会議費	100,000	
①総会費	70,000	講演料
②諸会議費	30,000	役員会会議費等
3. 事業費	700,000	
①印刷費	650,000	会報、総会案内状印刷費
②修士記授与記念写真費	10,000	
③記念品費	40,000	
予備支出	30,000	
予備費	30,000	
当期支出合計	1,070,000	
次期繰越金	817,091	
合計	1,887,091	

〈第4号議案書〉

役員改選

〈第5号議案書〉

その他

2020年度 第68回 博修士会総会・学術講演会 (報告)

総会は、7月31日(土)13時から関西大学千里山キャンパスの第2学舎1号館5階A503教室で行われた。本年度もコロナ禍での開催のため、感染予防とソーシャル・ディスタンスを徹底した。当日、芝井敬司理事長、前田裕学長、山本秀樹副学長・研究推進部長、藤田高夫副学長・国際部長、田中義信校友会会長、小谷寛子女子秀麗会会長が来賓として出席された。

総会では、物故者に黙とうを捧げ、学歌を傾聴した後、来賓の芝井理事長、前田学長、田中校友会会長からご挨拶を頂戴した。その後、総会の議事に移り、会則に則って議長の北嶋会長、副議長の明神会長代理の下で、2020年度の事業報告と収支決算報告について審議・承認、「名簿特別勘定」の取り崩しについて議決し、そこからの収入を盛り込んだ2021年度一般会計予算について全会一致で決議した。

14時からは、学術講演会に移り、2020年度文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)を受賞された多川則男関西大学名誉教授から「生み出されるデータ量の爆発的増加とハードディスクの高密度大容量化について」と題して、講演していただいた。情報処理システムやHDD装置の概要から浮動ヘッド技術や磁気ディスク媒体のイノベーション等に関する独自の技術開発をわかりやすく説明していただいた。SSDとの相違を踏まえた議論も活発に行われ、日本の産業が有する部品の高品質と装置化の相克にも言及する内容だった。参加者一同、最近のIT関連技術の動向について、全体像を認識することができた。

懇親を深める会は、今年度も開催できなかった。1日も早いCOVID-19の収束を願いつつ、教育・研究、各位の業務に励んでいきたい。

(博修士会 広報部)



3年ぶりの全体式典開催 604名の新博修士の誕生、 811名の新入生を迎える

学位記授与式(3月22日)及び大学院入学式(4月2日)について、ここ2年間は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各研究科に分散してリモート中継で実施していましたが、3年ぶりに全体での式典として開催いたしました。そして、604名の修了生と811名の新入生の方々を迎えることができました。

前田学長は、学位記授与式式辞でコロナ禍の2年間を振り返りながら、修了生に対して「社会に出てからも新規性探求の姿勢を持ち続けることが大切である。新しいことに挑戦し、失敗を恐れず、自分を信じて前に進むことが人生を謳歌するコツである」と述べられました。

(博修士会 広報部)



学位記授与式

事務局便り

博修士会への連絡をスマホやパソコンから手軽に行えるように、2次元バーコード(QR-Code)を作成し、学位記授与式と入学式に会報とともに配付いたしました。ご活用ください。

なお、連絡用2次元バーコードは正会員(修了生)用と院生学生用の2種類あります。



(修了生用) <http://u0u1.net/Xeky> (院生用) <http://urx.red/wskf>

お知らせ!

関西大学博修士会

検索



ホームページも見て下さい!

www2.kandai-koyukai.com/al/kandai-md/

博修士会会報 2022年号

2022年7月22日 発行

発行人 北嶋 弘一 編集人 篠塚 義弘

発行所 関西大学博修士会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
関西大学校友会事務局気付